

平成30年度水防訓練（開催日：平成30年5月13日）

京都市と隣接市町（八幡市，久御山町，長岡京市，大山崎町）で構成している澱川右岸水防事務組合及び桂川・小畑川水防事務組合（管理者 門川大作京都市長）は，近年台風等による大規模な水害が頻発している中，地域を水害から守るための水防活動の技術力向上等を目的として，5月13日に水防訓練を実施しました。



各種水防工法訓練（伏見消防団とも連携，洛水高校の生徒も参加）

当日は，大雨にもかかわらず，多くの方に御参加いただき，本番さながらの水防活動が行われました。また，今年度は「災害時等におけるドローンを活用した支援活動に関する協定」（H30.2 締結）に基づき，ドローンを活用した被害状況調査を行い，より実戦に即した訓練となりました。

なお，本訓練では，地域住民の防災に対する意識を高め，災害時に自らが行動し水害を防ぐ力を養うことを目指し，土のう作り体験コーナー等，災害時に役立つ体験コーナーも合わせて実施しています。



被害状況調査訓練（ドローンによる撮影）



土のう作り体験コーナー（土のう造成機）

今後もより災害の実態に即した取組を充実させ，参加者の水防に対する意識の向上を図り，水害に対し迅速に対応することで，被害の最小化を目指します。